



皆さんは日ごろ、隣近所の方とどのくらいのお付き合いがありますか？ 東日本大震災のような大規模災害の際には、あらためて人と人とのつながりの大切さを実感した方が多いようです。

村内には、自治会が核となって防災活動に取り組み、「お互いさま」の精神で共助に努めている自主防災組織(28組織・平成28年3月末現在)があります。

●自治会に加入して「共助」を

各地域ではコミュニティセンターや集会所を拠点として、主に自治会加入者を対象とした防災活動を行っています。人口が密集した住宅街や、田畑が多い河川付近の低地部、土砂災害警戒区域がある地域等、地理的・社会的特性に応じた防災訓練を実施している自主防災組織は、災害発生時に真っ先に対応できる共助の要です。「自治会には加入していないけれど、災害時には助けてほしい」という声も聞こえてきそうですが、災害時に困っていることを周囲の方にいち早く分かってもらうためには、日ごろからのコミュニケー

ションが大切です。そこで、まずは自治会に加入して隣近所に知り合いを増やしてみませんか？ いざというときにお互い助け合えるような信頼関係を育ておくことも、効果的な自助・共助といえるでしょう。

●地域に密着した消防団

「東海村消防団」(183人)は、火災や災害が発生した際、消防本部と連携して村民の生命や財産を守るため、平常時から巡回活動や水防訓練、消防ポンプ操法訓練等を行っています。団員はサラリーマンや自営業、公務員など、本来の仕事がある中で、いざ火災や災害が発生すると、消防団長の指揮・命令で初期消火や消火支援、交通誘導、人命救助、避難誘導などを行います。これからも即時対応力のある重要な防災機関として、自主防災組織や消防本部、警察、村などと連携しながら、地域の安全・安心に大きく貢献してくれることでしょう。

●問い合わせ

防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当 ☎282-1711 内線1524)

文芸とうかい

〔俳句〕

花冷えや旨さにぎわう輪島の夜

村松北 小野寺紀夫

古希走る来し方おもう桜かな

豊白 小林 久男

春愁の破舟たたいて散歩道

村松 大内たけみつ

黄水仙吾に見せよと一枝を

舟石川 舛井 愛子

老鷲の枝をゆらして肩へにけり

村松 松本 正勝

裏町の路地にひっそり蕁咲く

豊白 中島エミ子

ちちははの面影しのぶ入り彼岸

南台 渋谷ひろし

〔短歌〕

春風に薺の揺れてわたしまで背中

押されつ一步進みぬ

外宿 小林美代子

はるかなる太古の産物秋吉台地下

に神秘的な鍾乳洞

照沼 佐藤 昇

霜よけのネットはずして青々と冬菜

畑の春らんまんに

内宿 村上 文江

校庭の桜ようやく五分

咲きか三寒四温のひと

日の暮れる

船場 舛井庫之助



小雨降る河口の中洲海鳥の群れも居ずしてきらめきもなし

緑ヶ丘 佐藤 正

保育所落ち怒れる人のその背に震災

五年の不安を思う

豊白 梅津 秀雄

空見上げ丈低く咲く蒲公英の黄色眩

しく誇らしげなり

須和間 柴山 靖子

うれしさと忙しさのなか子ら帰り

コーヒーを飲む夫とわれは

村松 桜井 秀子

「文芸とうかい」作品(俳句・短歌)を募集しています！

対象▼村内在住の方 ※お子さんから高齢の方まで、幅広い世代の方の作品をお待ちしています。

その他▼必要に応じて選歌・添削をする場合があります。あらかじめご了承ください。

申し込み・問い合わせ▼▽作品▽氏名▽住所——を明記の上、郵送または電子メールで、広報広聴課情報発信担当(〒319-1192 東海3-7-1 ☎282-1711 内線1305 ✉kouhou@vill.tokai.ibaraki.jp)へ応募してください。